

7/19
朝日

米追従より外交で平和築け

無職

(大阪府 78)

を学んだのでしょうか。

戦争体験世代の私は国民学校で「生きて虜囚の辱めを受けず」と教育されました。15歳になれば戦争に行ってお国のために死ぬものと思っていました。

長じて大学法学部の憲法の授業では「日本は軍備を持たない、戦争はしない」と、憲法の文言通りの解釈を教わりました。私の受けた教育から考えると、解釈改憲で集団的自衛権行使を容認した閣議決定も、衆院を通過した安全保障関連法案も明らかに違憲です。与党の国会議員はどんな憲法

私の妻は広島原爆で父と祖父母を失いました。郡部に疎開していた義母は夫を捜して入市被爆。原爆投下の2週間後に生まれた義弟は9年前、61歳でがんで死にました。私は胎内被爆のためと思っています。

今、核弾頭ミサイルが発射され、日本の上空で迎撃に成功したら、どんな影響が及ぶのか、議員は誰も言いません。平和に必要なのは、米国の意を付度して一緒に戦うのではなく、戦争を避けるための外交努力です。こんな国会で国民の命を守るのか、不安です。